

2023
12月号

あおば ボラセン だより

「あおばボラセンだより」は、青葉区社会福祉協議会あおばボランティアセンターが実施している事業やイベントのお知らせ、報告等、青葉区内の地域福祉に関する情報を提供しています。

学習意欲がわいた！楽しかった！
などご好評を頂きました。



「手話入門講座（夜コース）」の様子

①技術系ボランティア養成講座【手話】

青葉区聴覚障害者協会と共催で「手話入門講座」を開催しました。

全5回の講座を昼コース(5月24日～6月21日)32名、夜コース(6月16日～7月14日)35名と多くの方にご参加いただきました。

あおばボランティアセンターでは、毎年技術系ボランティア養成講座を開催しています。

来年度は拡大写本ボランティアグループ「のあざみ」さんを講師としてお迎えし、養成講座を開催する予定です。ご期待ください。

②地域向け福祉講座【盲導犬ユーザー】

福祉教育推進のため、7月24日に盲導犬ユーザーの講話を開催しました。

講師として毎年小中学校の福祉教育でご協力いただいている、緑区役所職員の関東氏を講師として呼びし、視覚障害についてお話しいただきました。来年度も開催予定です。ぜひご参加ください。



「地域向け福祉講座」の様子

③大学生ボランティア交流会

大学生ボランティア同士の交流・情報交換のため、大学生ボランティア交流会を7月31日に開催しました。区内ボランティア団体にもご参加いただき、活動の現状や課題について大学生と一緒に話し合いました。

ご参加・ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました！



【お問合せ・各種ご相談】

社会福祉法人 横浜市青葉区社会福祉協議会
あおばボランティアセンター

受付時間：月～土曜日（祝日除く） 9:00～17:00

TEL:045-972-7018

E-mail : vc-aoba@yokohamashakyo.jp

お気軽に
ご相談ください！




ボランティアグループ紹介 第1回

あおばおもちゃのひろば



あおばおもちゃのひろば 代表
池上信江さん

「あおばおもちゃのひろば」は「おもちゃ」遊びを通して、どんなかたでも参加できるインクルーシブひろばになることを願って、22年前子育て真っ只中だったスタッフといっしょに立ち上げたボランティアグループです。

Q  ログマークにはどういった意味があるのですか？

A プラステンというドーナツ型をした木のシンプルなおもちゃがあって、いろいろな遊びができます。ひろばのロゴはそれを横に並べた形になっています。でもよく見るとまんまるでなく、ピョコピョコと跳ねた形になっていてaobaを表しています。「いろいろあっていいね」というメッセージが込められています。

Q ボランティアとして関わってきた中で印象的な出来事は？

A 22年間も活動していると印象に残ることは沢山あります。青葉区内のボランティアグループが作ってくれた布のパズルがあります。もともとは4分割でしたが、障がいのあるお子さんが少し難しそうだったので、2分割のパズルを相談して作っていただきました。親子のニーズが見えた時に色々な団体やボランティアと協力してすぐに活動できたことが印象的です。(下記の写真:実際に使用している布パズル)



上段：4等割
下段：2分割
の布パズル

Q 「あおばおもちゃのひろば」の歴史と特色を教えてください。

A 1997年に社協主催の「子育てのびのびセミナー」の受講者で立ち上げた子育てサークルが始まりです。その後ラポールのおもちゃ図書館の協力もあり「おもちゃのひろば」と発展しました。

特色はボランティアの年齢の幅が広い。来てくれる親子もさまざま。色々な年齢の方、色々な生き方の方が集まっている。それぞれが良さを生かして居場所を作っています。



Q 「あおばおもちゃのひろば」でのボランティアの魅力を教えてください。

A 好きなこと、得意なことを、それぞれの持ち味で「ひろば」に集結できること、楽しんで参加できることが、ボランティア活動の魅力です。親子のおもちゃ遊びにちょっぴりお手伝いをするスタッフに会いにきてください。お待ちしております。

あおばおもちゃのひろば
詳しい内容等
最新情報はこちら!⇒

